

2014

安 全 報 告 書



水間鉄道株式会社

## お客様をはじめ地域の皆様へ

いつも水間鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

当社は、常にお客様に「安全・安心」を提供し、事故防止に取り組んでおります。

また、2011年度より、安全輸送計画に基づき、国、貝塚市の補助を受け老朽化した鉄道設備の更新を随時行っております。

2013年度には186万人のお客様が当社鉄道をご利用いただきました。より快適にご乗車いただけますよう鋭意努力してまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組み、安全の実態について、自らを振り返るとともに広くご理解いただくために公表しております。

皆様からのお声を輸送の安全に役立てるよう頑張っております。是非、積極的なご意見を頂きますようお願いいたします。

2014年9月

水間鉄道株式会社

代表取締役社長 藤井浩正

1. 安全の基本方針と目標
  - (1) 安全の基本方針
  - (2) 安全目標
2. 鉄道事故等の発生状況と再発防止策
  - (1) 鉄道運転事故
  - (2) 自然災害
  - (3) 輸送障害
  - (4) インシデント
  - (5) 行政指導等
3. 重点安全施策の内容と進捗状況
  - (1) 安全意識の高揚・安全対策
  - (2) 人材育成
  - (3) 安全投資
4. 安全管理体制
  - (1) 安全管理体制
  - (2) 各管理者の役割
5. 安全への取り組み
  - (1) 消防署との合同訓練
  - (2) 各種運動への取り組み
6. お客様・沿線の皆様へのご協力をお願い
  - (1) お客様からのご意見
  - (2) 踏切横断について
7. お問い合わせ・ご連絡先

## 1. 安全の基本方針と目標

### (1) 安全の基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「運転安全規範綱領」を次のように掲げ、社長以下、社員全員に周知・徹底しております。

- 1 安全の確保は輸送の生命である。
- 2 規程の遵守は安全の基礎である。
- 3 執務の厳正は安全の要件である。

### 安全目標

お客様に安心してご乗車していただくため、経営トップを含め、全社一丸となって安全管理体制の強化に取り組んでいます。

2013年度は、「安全・安心・観光・環境」をスローガンに、無事故達成の目標に向けて取り組みました。

## 2. 鉄道事故等と再発防止策

### (1) 鉄道運転事故

2013年度は、鉄道運転事故は発生しませんでした。

### (2) 自然災害（地震や暴風雨による被害）

2013年度については、自然災害による被害はありません。

### (3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2013年度については、8月に踏切障害事故による30分以上の輸送障害が1件ありました。

### (4) インシデント

2013年度については、インシデントは発生しておりません。

### (5) 行政指導等

2010年2月に国土交通省の運輸安全マネジメント及び保安監査を受け、2013年に監査で指摘のあった障害箇所の改善を完了しました。

## 3. 重点安全施策の内容と進捗状況

### (1) 安全意識の高揚・安全対策

安全意識を高揚させるため、当社では「事故や輸送障害、災害、インシデントには至らないがこれらに発展する可能性のある軽微な事故、障害、ヒヤリハット及びリスク等」を『事故の芽』と定義して、報告の徹底を図っています。

## (2) 人材育成

列車乗務員や駅係員の知識・技能の向上を図るため、業務講習を計画的に実施しています。

運転士に対しては、運転法規の熟知はもとより、当社独自のワンマン運転時の安全に対する意識・職責の徹底とともに、保安装置故障・転てつ器故障・車両故障といった異常時を想定した教育を行い、不測の事態に備えています。

また、接客技能の向上を図るべく、接客教育を実施しています。

## (3) 安全投資

2013年度の安全性向上の投資として、名越駅にある転てつ器の交換工事、全踏切数31か所のうち、10か所の踏切保安装置の更新を実施いたしました。

2014年度につきましても、補助金事業（国・貝塚市）にて残りの21か所の踏切保安装置の更新、車両の全般検査を計画しております。

### 名越駅転てつ器（水間観音駅方）交換工事

施工前



夜間交換工事



施工後

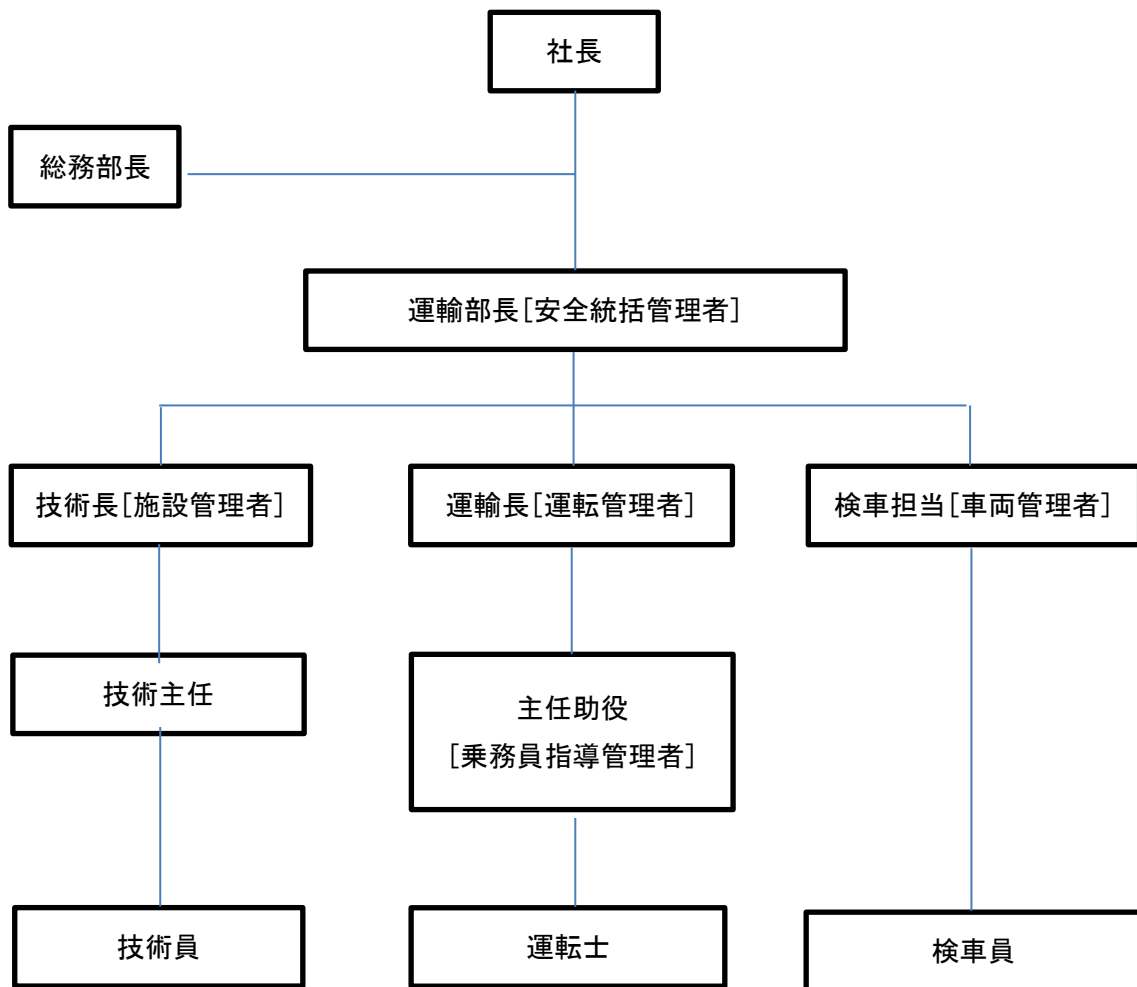


#### 4. 安全管理体制

##### (1) 安全管理体制

2006年3月の鉄道事業法の改正により、同年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理体制を整備、組織内の責務を明確にし、安全性向上のためのPDCAサイクルを確実に実行するよう取り組んでいます。

社長、安全統括管理者ならびに各管理者の役割および体制は以下の通りです。



## (2) 各管理者の役割

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括監理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の維持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総務部長	投資、予算、要員計画に関する事項を統括する。

## 5. 安全への取り組み

### (1) 消防署との合同訓練

2013年11月に水間観音駅構内で火災が発生したとの想定で消防訓練を行いました。今後も地元消防署と連携し、スムーズな異常時対応が出来るよう訓練します。

### (2) 各種運動への取り組み

春、秋の全国交通安全運動期間や踏切事故防止キャンペーン、安全運転推進運動や年末年始の輸送等に関する安全総点検時には各踏切や貝塚駅、清見駅等で貝塚警察署員と連携し、安全に対する啓発運動を実施致しました。

## 6. お客様・沿線の皆様へのご協力をお願い

### (1) お客様からのご意見

お客様から直接、駅または電話等によるご意見を参考にし、より安全で信頼される鉄道をつくるため、皆様から頂いたご意見を役立てることに取り組んでまいります。

### (2) 踏切横断について

2013年度には踏切輸送障害が1件、遮断桿折損の障害が15件発生しました。踏切横断時は一時停止、警報器が鳴り出したら無理な横断はおやめ下さい。

## 7. ご意見・ご質問

本 社：072-422-4567

貝 塚 駅：072-433-4709

水間観音駅：072-447-0465